石川県医師会の活動

石川県医師会の医療安全活動

石川県医師会では、「県民のいのちを守る」をテーマに、各種施策を実行しております。

◇いのちのリボン

平成 16 年、混合診療導入の是非が議論されていた頃、石川県医師会として「いのちはみんなが授かったかけがえのないもの。みんなの大切ないのちだから、受ける医療に格差があってはなりません。いのちのリボンをつけて私たちは約束します。みんなのいのちを生涯かけて守ることを」との趣旨のもと、その証として「いのちのリボン」を制作し、石川県医師会役員・会員を中心に、県内の医療関係団体、日本医師会や全国都道府県医師会長の先生方のご理解を得て、診察時や種々の会議、行動の際に胸に付けております。

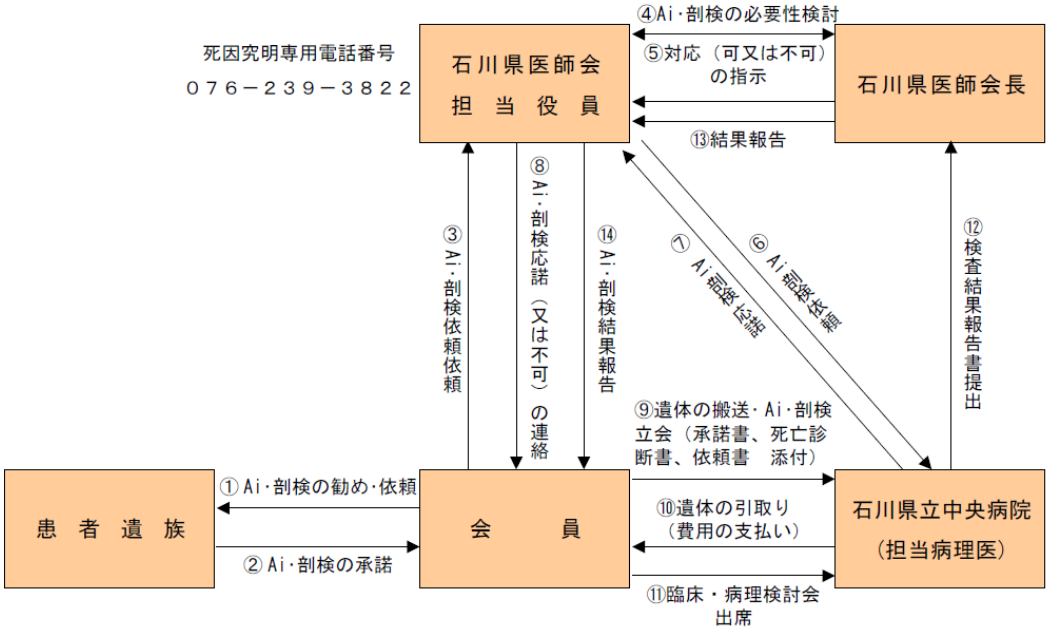
◇死因究明システム

近年、異常死の問題がクローズアップされ、一定の割合で起きる医学的に避けることのできない不幸な結果に対して罪を問われる可能性が高くなってきております。

こうした中で、石川県医師会では平成 18 年に、死因や医療ミスの有無を明らかにする仕組みを整えることで、患者さんと医師の信頼関係を築くことを目的に死因究明システムを導入、県内の病院や診療所で亡くなった患者さんに対して遺族から医療ミスが疑われた場合、県立中央病院で遺体を解剖し、その原因を究明するシステムを構築したところであります。

平成 20 年からは、より遺族に配慮することとし、剖検に加えAi（オートプシー・イメージング、死後画像診断）も導入しております。

石川県医師会死因究明システム：フロー図



◇医療安全全国共同行動　石川フォーラムの開催

安全な医療の実現のため、医療に従事するすべての職種、団体等が立場を超えて一丸となって医療安全対策に取り組んでいる実際を広く県民に周知することを目的に、医療安全全国共同行動石川フォーラムを開催しております

開催にあたっては、石川県内の医療、介護等に携わる各種の団体や患者団体、婦人団体、住民団体等で構成している「石川県医療推進協議会」を母体として、職種を問わず幅広く対象としております。